

## 目標と実績

2014 年度のレスポンシブル・ケア活動における安全に関する取り組みの目標と実績は以下のとおりです。

### 2014 年度目標と実績の総括

★★★目標達成 ★★目標ほぼ達成 ★さらに取り組みが必要

推進項目	2014 年度目標	2014 年度実績	自己評価	2015 年度目標
保安異常の撲滅	(1)プラント安全性評価の実施(100%)	(1)プラント安全性評価の実施(100%)	★★★	(1)プラント安全性評価の実施(100%)
	(2)RC 専門監査※ <sup>1</sup> の実施(4 工場とも 1 回/年以上)	(2)RC 専門監査の実施(4 工場とも 1 回/年以上)	★★★	(2)RC 専門監査の実施(4 工場とも 1 回/年以上)
	(3)事故防止のための感性を高める教育(4 工場・1 グループ会社実施)	(3)事故防止のための感性を高める教育(4 工場・1 グループ会社実施)	★★★	(3)事故防止のための感性を高める教育(4 工場・1 グループ会社実施)
	(4)保安異常※ <sup>2</sup> ゼロ	保安異常 2 件	★	(4)保安異常ゼロ
労災撲滅の実現	(1)休業災害ゼロ、重大不休業災害ゼロ	休業災害 1 件	★	(1)休業災害ゼロ、重大不休業災害ゼロ
物流安全の推進	物流事故ゼロ	物流事故ゼロ	★★★	物流事故ゼロ

\* 2013 年から、プラント安全性評価の実施件数は公開していません

※1 RC 専門監査

レスポンシブル・ケア行動指針に基づいた監査。環境安全部長を監査長として、専門的視点で行う監査を RC 専門監査あるいは単に専門監査と呼んでいます。

※2 保安異常

出火、爆発、漏洩、破損、暴走反応等が発生したとき。あるいは、それらの発生にいたらなかったが、処置が遅れれば発生の可能性のあったもの、およびその兆候が見られたものを保安異常と社規に定義しています。

労働災害の多かった時期(2005 年～2007 年)と比較すれば減少はしましたが、目標(ゼロ)を達成することはできていません。減少で満足するのではなく、あくまでもゼロにこだわった安全活動を展開していきます。